

6年間で学習する「話すこと・聞くこと」

	準備	話すこと	聞くこと
1年	<ul style="list-style-type: none"> □伝えたいことを決める。 	<ul style="list-style-type: none"> □みんなに聞こえる声ではっきり話す。 □聞き手の方を向いて話す。 	<ul style="list-style-type: none"> □話している友達を見て、終わりまで聞く。 □「おもしろいところ」「驚いたこと」「もっと知りたいこと」などを考えながら聞く。 □質問したり、感想を言ったりする。
2年	<ul style="list-style-type: none"> □何について話すのかを考え、その時のことを詳しく思い出す。(いつ・どこ・だれ・何) □「はじめ」「中」「終わり」など、話の順序を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> □話す内容や相手に合わせて、声の大きさや速さを工夫する。 □大事なことは何かを考えて話す。 □丁寧な言い方と、普通の言い方のどちらを使うとよいか考える。 	<ul style="list-style-type: none"> □大事なことを落とさずに聞く。 □聞いたことを短い言葉でメモする。
3年	<ul style="list-style-type: none"> □相手や目的に合わせて、伝えたいことを決め、メモなどに書き出す。 □伝えたいことに合う理由や資料を選ぶ。 	<ul style="list-style-type: none"> □聞き手を見て、様子確かめる。 □声の調子や強弱などを工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> □話す人の方を見ながら聞く。 □話の内容や自分が知りたいことをはっきりさせる。 □どう質問するとよいかを考える。
4年	<ul style="list-style-type: none"> □相手や目的に合わせて、伝えたいことを決め、メモなどに書き出す。 □伝えたいことに合う理由や資料を用意する。 	<ul style="list-style-type: none"> □声の大きさや強弱、間の取り方に気を付けて、大事なことが伝わるように話す。 □表やグラフなどの資料を見せながら、聞く人に分かりやすく話す。 	<ul style="list-style-type: none"> □聞きながらメモを取るときは、必要なことは何かを考え、大事な言葉を書く。
5年	<ul style="list-style-type: none"> □目的や意図に合わせて、伝えたいことや自分の考えなどを観点に分けて書き出す。 □事実と感想、意見を区別する。 □「はじめ」「中」「終わり」などの構成を考える。 	<ul style="list-style-type: none"> □自分の体験や、調べた事実など、具体的な理由を入れて話す。 □事実と感想、意見とを区別して話す。 □提案理由や図表などを資料にまとめて、提示する。 	<ul style="list-style-type: none"> □相手の意図をとらえて、話の要点をまとめたり、内容を確認したりする。
6年	<ul style="list-style-type: none"> □聞き手の知識や興味・関心に合わせて、資料を考える。 □情報を絞ったり、図表を使ったりして、効果的な資料を作る。 	<ul style="list-style-type: none"> □聞き手の反応を確かめながら、話し方や表現を工夫する。 	<ul style="list-style-type: none"> □話し手が、目的や話題に沿って意見を述べ、その理由や事例として適切なものを挙げているかどうかを確かめる。 □自分の考えと比べる。共感したり、納得したりできる点を取り入れるなどして、考えを深める。

